

# 平成26年度事業報告

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

一般社団法人 学 士 会

# 平成 26 年度 事業 報告

(平成 26 年 4 月 1 日 ~ 平成 27 年 3 月 31 日)

## 事業 概 況

平成 26 年度の本会は、取組むべき重点課題として以下の 4 点を掲げ、当該課題に対する積極的な取り組みを行いながら、定款に定める各種事業を実施してきました。

- (1) 会員増強活動の強化
- (2) 会員サービスの向上
- (3) 諸事業の充実と新規活動の展開
- (4) 会館運営事業の一層の強化

平成 26 年度の各種事業の実施状況は後段にて詳述致しますが、以下、重点課題に対する取り組み結果等について報告致します。

### (1) 会員増強活動の強化

会員増強に向けた取組みとして、平成 26 年 6 月開催の通常代議員総会において会員資格の拡大に向けた定款の一部変更を行い、新たに入会資格を得た対象者に対して入会勧誘活動を行うと共に、七大学及び関連同窓団体・OB 団体との連携強化に努め、当該団体が主催する各種イベント・催しの参加者に対し本会への入会を働きかけるなど、会員増強に向けた様々な取り組みを行ってまいりました。また、会員増強の重点的な課題として若手会員、女性会員、学生会員にとって魅力となるプログラム・サービスの提供にも取り組みました。

残念ながら、平成 26 年度末における会員数は対前年 1, 718 名の減（逝去会員、会費未納による退会者を含む）となりましたが、新入会者数は増加傾向（対前年 210 名増）にあり、一方、自主的退会者数は減少傾向（対前年 201 名減）となるなど、会員の減少化傾向に一定の歯止めをかけることが出来た一年でもありました。次年度以降も会員増強に向け、これらの地道な活動を継続的に行ってまいります。

### (2) 会員サービスの向上

本年度は、首都圏に偏りがちであったイベント実施の反省から、北海道大学・東北大学・名古屋大学・九州大学の所在地において、大学当局や関連同窓会との連携・協力の下で交流会を伴った講演会を実施致しました。又、若手会員や女性会員向けの新規プログラムを企画、実施した（「若手カフェ」「女性会」「男女会員交流会」等）他、外部企業・団体との提携に基づく各種会員割引・利便サービスの導入、更には学士会館での利用割引サービスの拡充等、会員サービスの向上に努めてまいりました（詳細は、『學士會会報』をご覧ください）。

### (3) 諸事業の充実と新規活動の展開

本会の公益事業の大きな柱であり、会員からも高い評価を得ている『學士會会報』の発行については、発行号ごとに「会報編集委員会」を開催し、伝統ある会報の品質維持に努めると共に時宜に合った魅力ある誌面づくりに努めてまいりました。また『U7』のあり方に関する検討を行い、会員増強に資する目的で『U7』に替わる新たな媒体による情報誌の発刊が提案されました。

講演会事業に関しましては、既存の夕食会・午餐会の開催に加え、世代、性、居住地等の異なる会員各層のニーズに応えられるよう、前年度答申された「会員増強委員会」からの提案内容に沿った新規企画の実施を試みてきました。これらの結果評価を踏まえ、平成27年度も会員ニーズに適った企画・サービスを継続して提供してまいります。

#### (4) 会館運営事業の一層の強化

本年度より、本会の100%子会社である(株)学士会館精養軒との間で、学士会館の運営に関する委託契約の全面的な見直しを実施するとともに、両者による一体的な会館運営を強化するため、両者の実務責任者による定例的な「会館運営委員会」の開催や組織的連携・交流を図ってまいりました。その結果、本年度は学士会館の大規模改修工事に伴う1ヶ月間に及ぶ休館一営業休止期間があったものの、会館運営事業は順調に成果を上げる事ができ、本会事業の収支改善に大いに寄与する結果となりました。

また、上記の通り将来に向けた会館の安全維持管理のため、外壁補強工事を中心に館内の補修・改修工事を伴う大規模な修繕工事を実施致しました。工事休館中は会員の皆さまに多大なご不便をお掛けしましたことをあらためてお詫び申し上げますと共に、ご理解に対し感謝申し上げます。

以下、各事業別にその概要を報告致します。

### 1. 会 報 (『學士會会報』及び『U7』)

本会会報である『學士會会報』と『U7』を隔月に同時発行致しました。

『學士會会報』は第906号を平成26年5月、第907号を7月、第908号を9月、第909号を11月、第910号を平成27年1月、第911号を3月にそれぞれ発行し、全会員に配布致しました。また、『學士會会報』は七大学各学部図書館に寄贈する他、国立国会図書館や都道府県立図書館等へも毎号寄贈し、本会の目的でもある“学術的文化的知識の交流普及”に努めました。

また『U7』は第55号を平成26年5月、第56号を7月、第57号を9月、第58号を11月、第59号を平成27年1月、第60号を3月にそれぞれ発行し、総発行部数は305,600部となりました。

### 2. 会員氏名録

本年は4年振りに会員氏名録を発行致しました。平成26年7月31日現在の会員氏名録原稿をもとに編集を行い、11月に「平成26年度版会員氏名録」を発行致しました。

9,000部を発行し、完売致しました。

### 3. 学士会館

会館の利用実績は次の通りです。(※本年度は8月工事休館のため実質11ヶ月稼働です)

□会議室利用回数	5,634回(6,014回)	※カッコ内は昨年1年間の実績
□会議室利用人員	164,676名(178,241名)	} ※延べ人数 計 308,489名
□宿泊室利用人員	7,440名(7,283名)	
□レストラン等利用人員	143,069名(160,616名)	

但し、読書室、七大学連絡事務所、囲碁・将棋・撞球(同好会室)、談話室の利用は除く。

## 4. 講演会、談話会、その他の集会

### (1) 午 餐 会

本年度は次の通り、各分野で活躍される多彩な方々による講演会を開催し、延1, 399名の参会がありました。なお、8月は会館休館に伴い休会、また12月は例年通り休会致しました。

映画の昨日・今日・明日	高井英幸氏 (平成26年 4月例会)
黒田官兵衛とその時代	中野等氏 (平成26年 5月例会)
熱中症における最新の話	三宅康史氏 (平成26年 6月例会)
発掘と研究	青柳正規氏 (平成26年 7月例会)
内にこもる日本	藤原帰一氏 (平成26年 9月例会)
目指すべき日本の未来の姿	岡村正氏 (平成26年10月例会)
私の出会った勘三郎と團十郎	山川静夫氏 (平成26年11月例会)
「人口急減社会」における効果的な少子化対策	増田寛也氏 (平成27年 1月例会)
想像するちから：チンパンジーが教えてくれた人間の心	松沢哲郎氏 (平成27年 2月例会)
東南アジアの現状と展望	白石隆氏 (平成27年 3月例会)

### (2) タ 食 会

本年度は次の通り、午餐会と同様に、各分野で活躍される多彩な方々による講演会を開催し、延1, 268名の参会がありました。なお、5月と8月は休会、1月は「新春講演会」に振り替え致しました。

長期観測データから見た異常気象	藤部文昭氏 (平成26年 4月例会)
次世代のがん研究・がん医療とは	野田哲生氏 (平成26年 6月例会)
宇宙太陽発電所の実現に向けて	篠原真毅氏 (平成26年 7月例会)
女性はもっと活躍できる	岩田喜美枝氏 (平成26年 9月例会)
ブラックホールはどこまで解明されているのか	二間瀬敏史氏 (平成26年10月例会)
はじまりは坂の途中で－日本文学が見せる人間のゆとりと威厳について考えるために－	ロバート キャンベル氏 (平成26年11月例会)
21世紀の世界システムと国際協力	田中明彦氏 (平成26年12月例会)
生物時計のからくりを探る	近藤孝男氏 (平成27年 2月例会)
昭和史から学ぶこと	保阪正康氏 (平成27年 3月例会)

### (3) 新春講演会

本年度は次の通り、新春講演会を開催し、232名の参会がありました。

自分史を書く意義	立花隆氏 (平成27年 1月10日)
----------	--------------------

#### (4) 関西茶話会

本年度も過年度同様、関西地区の会員を対象とした茶話会を開催し、延190名の参会がありました。

- 第16回 「三角縁神獣鏡と邪馬台国所在地論争」  
福永信哉氏(平成26年 4月12日)
- 第17回 「大地の動きから南海トラフ巨大地震の実像に迫る」  
西村卓也氏(平成26年 6月14日)
- 第18回 「こころの科学は何をめざしているか」  
吉川左紀子氏(平成26年10月18日)
- 第19回 「いけばな 一花の哲学—(いけばなはロジックである)」  
笹岡隆甫氏(平成27年 2月28日)

#### (5) 見学会

本年度は次の通り、見学会(解説あり)を開催し、各々63名、41名の参会がありました。

- ・「青蓮院青龍殿見学会」  
増田千次郎氏(平成26年11月29日)  
( 榊内田組 協力 )
- ・「国立天文台文化財見学会」  
三船康道氏(平成27年 3月13日)  
日江井 榮二郎氏 藤本真克氏

#### (6) クリスマス家族会

平成26年12月20日、学士会館においてクリスマス家族会(午餐の部、晚餐の部)を開催致しました。催しとして、劇団こぐま座による着ぐるみ人形劇「ブレーメンの音楽隊」と「クリスマスコンサート」を行い、延べ362名の参会がありました。

#### (7) 新年祝賀会

平成27年1月6日、久保理事長による新年の挨拶に続いて大崎副理事長の発声による乾杯が行われ、賀宴を行いました。米澤会員による謡曲披露の後、三遊亭圓橘師による落語で新年を祝いました。88名の参会がありました。

#### (8) 若手交流会

本年度は昨年に引き続き、45歳までの会員を対象とした若手限定交流会を開催し、延92名の参会がありました。

- 第8回 気象キャスターの仕事 寺川奈津美氏(平成26年 7月23日)
- 第9回 演奏会(ジャズコンサート) 若井優也氏(平成27年 2月13日)
- 若手リムジン・パーティー (平成27年 1月31日)

#### (9) 若手会茶話会

本年度より新たに、34歳までの会員を対象に土曜日の茶話会「土曜カフェ」を開催し、延63名の参会がありました。開催テーマは次の通りです。

「コンサルタント」「営業」「読書」	(平成26年 9月27日)
「キャリア」「フリートーク」	(平成26年10月26日)
「転職」「フリートーク」	(平成26年11月29日)
忘年会(フリートーク)	(平成26年12月13日)
「外国語」「休日の過ごし方」	(平成27年 2月28日)
「後輩・部下」「異分野」「フリートーク」	(平成27年 3月28日)

## (10) 女性会

本年度は次の通り、女性会員を対象とした女性会を開催し、延27名の参会がありました。

「パーソナルカラー診断講座」	川 邊 翔 子 氏 (平成26年 7月26日)
「おもてなし料理講座」	中 村 薫 氏 (平成26年11月 8日)
「体幹トレーニング講座」	飯 沢 芳 明 氏 (平成27年 2月28日)

## (11) 地域講演会

本年度は大学のある各地域の内、これまで催し等の実施実績のなかった北海道、東北、名古屋、九州各大学の所在地において講演会を開催し、延393名(当会主催分)の参会がありました。

□北海道地区(北海道講演会)	後援 北海道大学・北海道大学連合同窓会 北海道新聞社
80歳エベレスト登頂からさらなる挑戦へ	三 浦 雄一郎 氏 (平成26年9月26日)
□東北地区(仙台セミナー)	主催 東北大学 協力 学士会
①変える、変わる仙台のまちとくらし	～仙台市地下鉄東西線開通を来年にひかえて～
	岩 崎 俊 一 氏 (平成26年10月11日)
	野 家 啓 一 氏
	佐 藤 真 海 氏
② 国立七大学卒業生の集い	協力 東北大学全学同窓会萩友会
27名の参会がありました。	
世界記憶遺産としての慶長遣欧使節	濱 田 直 嗣 氏 (平成26年10月11日)
□名古屋地区(講演会・夕食会)	共催 名古屋大学全学同窓会
グローバル化と日本の将来	丹 羽 宇一郎 氏 (平成26年11月26日)
□九州地区(講演会・懇親会)	共催 九州学士会
	後援 九州大学、九州大学同窓連合会、西日本新聞社
中国の時代と東アジア	宮 本 雄 二 氏 (平成27年 1月24日)

## (12) ホームカミングデーへの出店

本年度は、大学が主に卒業生を対象として開催した「ホームカミングデー」に参加しました。

- ①東北大学 七大学紹介及び学生会館オリジナル商品紹介 (平成26年10月11日)
- ②東京大学 復活学生会分館ビアガーデン (平成26年10月18日)

## (13) セタパーティー/クリスマスパーティー

東京大学校友会と共催で、男女若手独身メンバーを対象とした交流会を開催しました。

- ① 平成26年 7月 6日 …「セタパーティー」 36名参加 (申込：119名)
- ② 平成26年12月21日 …「クリスマスパーティー」40名参加 (申込：108名)

## (14) 春を迎えて 七大学学生の集い

平成27年2月13日、「学生会員」に向けた初めての企画イベントとして、「春を迎えて 七大学学生の集い」を開催しました。今回は、大学3年・4年生、大学院生を対象に募集を行い、18名の参会がありました。

## (15) 鑑賞ツアー

外部団体が企画・主催する「演劇」「コンサート」「古典芸能」等の文化・芸術イベントを、価格割引、優良席提供等の会員特典を付与して紹介・斡旋する「鑑賞ツアー」を企画し、延672名の参加がありました。

## 4. 諸会議等

### (1) 通常代議員総会

本年度の通常代議員総会を、平成26年6月26日学生会館において開催致しました。当日の出席代議員59名、書面等による議決権行使代議員50名、合計109名の出席により総会が成立し、次の議案を諮りそれぞれ承認可決致しました。

また、平成25年度事業報告並びに貸借対照表、正味財産増減計算書及び財務諸表に対する注記等、決算内容について報告がなされました。

- 議案 1 平成25年度事業報告、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録及び財務諸表の注記の承認について
- 議案 2 定款の一部変更について  
定款第6条第1項各号の会員資格に関する改正案について説明の後、裁決が行われ、総代議員数の3分の2以上の賛成が得られたため、原案通り承認可決されました。
- 議案 3 任期満了に伴う理事14名の選任について  
13名の理事が再任され、新たに大垣眞一郎代議員が、理事に選任されました。任期は2年で、平成28年6月までとなります。
- 議案 4 任期満了に伴う監事3名の選任について  
任期満了となる若井恒雄氏、根本二郎氏、岡田明重氏が監事に再任されました。
- 議案 5 学生会選挙管理委員会委員（東京大学選挙区及び大阪大学選挙区）の推薦について  
欠員となっていた東京大学選挙区及び大阪大学選挙区選出の「選挙管理委員会委員」

の候補者として、西尾勝会員（東京大学選挙区）と平野俊夫会員（大阪大学選挙区）を推薦することが決まりました。

## （２）臨時代議員総会

平成27年3月26日、「臨時代議員総会」を学士会館において開催致しました。当日の出席議員は69名、書面等による議決権行使代議員39名、計108名の出席により成立し、本田勝彦代議員総会議長のもとで次の議案を審議し、承認可決致しました。

議案 1 平成27年度事業計画案及び予算案について

議案 2 理事の選任について

金澤一郎理事の後任として、新たに桐野高明会員（東京大学・医卒）が理事に選任されました。

報告事項 会員増強について

## （３）理事会

本年度において次の通り開催し、諸般の会務について審議決定致しました。

□4月理事会（平成26年4月26日）

1. 平成26年度通常代議員総会の開催について
2. 平成25年度決算（概要）について

報告（1）新卒業学士等の入会状況

□5月理事会（平成26年5月22日）

1. 平成26年度通常代議員総会への提案議案について
2. ㈱学士会館精養軒の第63期定時株主総会議案について
3. 学士会事務局の組織変更及び事務局員の異動について

□6月理事会（平成26年6月26日）

報告（1）（本日開催）通常代議員総会について

（2）「国立七大学柔道選手団フランス派遣事業」への寄附について

□6月臨時理事会（平成26年6月26日 会員総会終了後）

1. （定款第27条第2項に基づく）理事長の選任について
2. （定款第27条第2項に基づく）副理事長及び常務理事の選任について
3. 会報編集委員会委員の選任について

□7月理事会（平成26年7月17日）

1. 「会員増強実行委員会」の発足について
2. 「特選入会希望者」について

報告（1）夏期休館を伴う会館補修・改修工事の実施について

（2）七大戰開会式（7月5日開催）について

（3）「地域イベント（講演会・交流会）」について

（4）平成26年度後半の理事会等日程について

□ 9月理事会（平成26年9月25日）

1. 『U7』の見直しについて

報告（1）夏期休館期間中の会館改修工事の実施について

（2）「会員氏名録」の購入申込状況及び発行部数について

（3）保有「外国仕組債」の一部早期償還（3銘柄：6億円）について

（4）「地域イベント」の開催について

（5）会員増強について

□ 10月理事会（平成26年10月23日）

1. 新理事候補者について

2. 平成26年度上半期会計報告について

3. 平成26年度上半期資金運用状況及び下半期資金運用計画（案）について

報告（1）「地域イベント」の開催について

（2）会員増強について

①第2回「会員増強実行委員会」の開催要領

②平成26年度上半期会員動向

□ 11月理事会（平成26年11月27日）

1. 平成26年度「臨時代議員総会」の開催について（平成27年3月開催）

2. 平成27年度理事会等の会議日程について

3. 会員増強について一第2回「会員増強実行委員会」開催を受けて一

報告（1）「地域イベント（11/26 名古屋地区）」開催報告

（2）「七大学総長懇談会（11/20）」開催報告

（3）「会員氏名録」の発行について

（4）年末年始の「催し」について

□ 1月理事会（平成27年1月22日）

1. 「平成26年度決算見通し」について

報告（1）「地域イベント（九州講演会）」開催予定

（2）会員増強について

①第3回「会員増強実行委員会」の開催報告

②平成26年12月末日現在の会員数及び増減状況

③今年度の新卒業生及び修了生に対する入会勧誘活動について

④「学生会員」向けイベントの実施について

□ 2月理事会（平成27年2月26日）

1. 平成27年度事業計画案及び予算案並びに資金計画案について

2. 平成26年度「臨時代議員総会」の開催について

3. 「会員増強実行委員会」からの提案について

報告（1）「会員増強」について

□ 3月理事会（平成27年3月26日）

報告（1）（本日開催）臨時代議員総会について

（2）新修了生・卒業生に対する入会勧誘活動について

#### (4) 監事会 (平成26年5月22日)

平成25年度貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録及び財務諸表の注記の検査を行いました。

#### (5) 常務会

毎月定期的に常務会を開催し、理事会提出議案の審議等、種々の会務を審議し必要事項を決定致しました。

#### (6) 諸委員会

##### ア. 会報編集委員会

本年度は次の通り開催し、種々検討・協議の上、各号の執筆候補者を決定致しました。

第1回	平成26年	5月22日	会報第909号
第2回	平成26年	7月17日	会報第910号
第3回	平成26年	9月25日	会報第911号
第4回	平成26年	11月27日	会報第912号
第5回	平成27年	1月22日	会報第913号
第6回	平成27年	3月26日	会報第914号

##### イ. 会員増強実行委員会

前年度の「会員増強委員会答申」を受け、会員増強活動を一層強化するため、「答申」に示された諸活動を推進させ、また新たな課題に取り組む常設委員会として、南原晃常務理事を委員長とする「会員増強実行委員会」が設置されました(平成26年9月)。

委員は、五十嵐三津雄理事、梶山千里理事、片岡大造代議員、大寫幸一郎代議員、河田悌一代議員、清水廣行会員、伴辰也会員、佐藤千恵子会員、田村恵美子会員、吉積礼敏会員、下村一樹会員です。

委員会は、次の通り開催され、『U7』廃刊後の情報新媒體の有り方や、会員増強に向けた各種施策の展開について協議を行い、理事会に対する提案を行いました。

第1回	平成26年	9月4日
第2回	平成26年	10月31日
第3回	平成27年	1月15日
第4回	平成27年	2月6日

なお、本委員会は平成27年4月以降も継続して開催されております。

##### ウ. 趣味同好会

平成26年12月1日に撞球、囲碁、将棋、俳句、漢詩、短歌、落語各会の年間優秀会員にそれぞれ理事長杯を授与し、その後、委員会を開催し、懇談を行いました。

## 5. 会 員

本年度における会員の増減及び年度末会員数は次の通りです。

新 会 員	8 1 9 名	( 5 9 9 名)
逝 去 会 員	9 3 0 名	( 8 5 2 名)
退 会 会 員	1, 1 5 5 名	(1, 3 5 6 名)
会費長期未納退会者	4 5 2 名	(1, 0 8 5 名)
差 引 減	1, 7 1 8 名	
現 在 会 員 数	4 9, 2 8 6 名	(内 終身会員4, 3 1 3 名)

(注：「終身会員」の内、戦前に制定された終身会員制度による加入者が788名、平成21年度より、新たに制度化された「新終身会員」が3,525名になります。)

## 6. そ の 他

当会は、(株)学士会館精養軒に学士会館の運營業務を委託しておりますが、平成16年2月以降、当会が同社の株式を100%保有しております。同社の概要は次の通りです。

[株式会社学士会館精養軒の概要] (平成27年3月31日現在)

□名 称	株式会社学士会館精養軒
□所 在	東京都千代田区神田錦町3-28
□代表者	代表取締役社長 渡邊 幸重
□資本金	10,000,000円
□売上高	1,677,401千円 (平成26年度決算)

(株)学士会館精養軒の平成26年度の営業結果は、次の通りです。

□平成26年度 (平成26年4月1日～平成27年3月31日) 決算	
・売上高	1,677,401千円 (前年度：1,725,482千円)
・営業利益	53,701千円 (同：80,589千円)
・経常利益	94,793千円 (同：102,502千円)

なお、当会との取引関係については、「平成26年度決算報告」における「財務諸表の注記」をご参照下さい。